

第五校区

平成最後の年特集 災害 （被害状況と取組）

自らの地域は、自らで

寝屋川市消防団 部班长 中井敦朗

郡班班長 中井敦朗
三井班班長 池田祐一

平素は、地域の皆さんには消防団活動に対しまして温かいご理解とご協力を頂き心から厚くお礼申し上げます。

さて、近年の災害や事故は複雑多様な傾向を益々強めております。特に昨年は、6月に発生した大阪府北部地震、7月には西日本集中豪雨に続き台風による風水害と甚大な被害が発生しました。



その様な状況におきまして私たち消防団員は「自らの地域は自らで守る」という郷土愛の精神に基づき、地域の安全と安心を守るために、災害発生時の消火活動を行うだけでなく、地震・風水害など大規模災害時の対応や、平常時においても訓練等の消防・防災力の向上や地域コミュニティの活性化を意識し活動しております。

今後も地域の安全と安心を守るため消防団としての自覚と誇りをもち邁進していきたと考えておりますので、皆さまの引き続きのご支援とご理解を心からお願い申し上げます。

対象者数273名（独居高齢者52名と幼児含む対象者221名）
安否確認結果

在宅確認数236名	（病院・介護施設等入院、入所確認の方は確認としています）
不在・未確認数37名	
確認率86%	

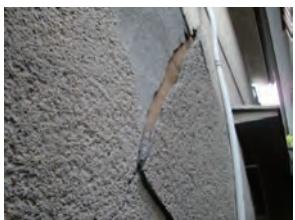
安否確認実施報告書

午前7時58分震度6弱の大阪北部地震発生直後、自分一人では安全な場所に移動、脱出が困難な方或いは自分の身を守るのが難しい方（要救護者という）独居、高齢者2人住まい、高齢者、乳児・幼児）の地震直後の安否確認調査を実施。

郡東自治会

安否確認実施報告書

A close-up photograph of a concrete block wall. A prominent vertical crack runs down the center of the wall. A metal rod or pipe is inserted into the crack, extending from the bottom to the top of the frame. The concrete blocks are light gray and appear to be made of a rough-textured material.



成田東町自治会 体験からの学び

大きな「災害」の無かつた当地域が、短期間のうちに「地震災害」と「台風災害」を一度も体験する事になってしまった。以下は、

○改善（その1…被害状況の把握）

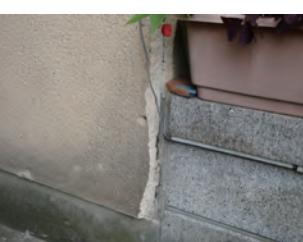
	A地区	B地区	合計
屋根瓦	30	17	47
塀	11	3	14
アンテナ	23	34	57
その他	倒木、掲示板、 波板屋根など		

注：波板屋根などの軽微被害も含めると、推定被害世帯は3割以上。

○改善（その2：災害発生後の行動マニュアル）

- ◆情報収集（インフラ状況、避難所開設）
 - ◆近隣被害状況の把握
*震度5弱以上
 - ◆重要情報の発信（水や食料配給など）
 - ◆個人の行動基準
 - ◆自身、家族の安否確認
 - ◆在宅か避難行動かの判断

○改善（その3..防災についての啓蒙）



- ◆テレビの「d」ボタンで寝屋川市の防災情報入手しよう！
- ◆避難所情報と体験談！